

財務・資本戦略

財務戦略

財務戦略の基本方針は、(1)企業価値の向上 (2)健全な財務基盤の構築 (3)株主還元を3本柱にしています。2019年3月期は、生産能力拡大のための設備投資が拡大しています。また、設備投資資金の調達により、有利子負債が増加し、自己資本比率58.6%となりましたが、次世代への投資を行った結果であり、ネットD/Eレシオ+0.20倍と健全な財務状態を維持しています。

	2018年3月期	2019年3月期	前期比	コメント
資産合計	1,308億円	1,369億円	+60億円	事業規模が拡大
自己資本	799億円	803億円	+3億円	純利益の一部を内部留保したことにより増加
現金及び現金同等物	147億円	120億円	▲27億円	有利子負債による増加はあるものの、運転資金の減少、設備投資の増加により減少
有利子負債	116億円	286億円	+169億円	主に設備投資資金借入により増加
自己資本比率	61.1%	58.6%	▲2.4ポイント	有利子負債の増加により減少
ネットD/Eレシオ	▲0.04倍	+0.20倍	+0.25ポイント	有利子負債の増加によりプラス化
ROE	12.1%	6.0%	▲6.1ポイント	利益の減少に伴う低下

ROE

各事業の経営計画の目標達成を軸に利益を確保しつつ、新しい事業と市場に挑戦するため、10年VISION、中期経営計画に基づき戦略的に投資を進め、ROE9%以上を安定的に維持することを目標として企業価値の向上に努めていきます。

健全な財務基盤の構築

事業拡大のための成長投資に柔軟に対応できる安定した財務基盤を構築します。当社は、設備関連の企業であり景気に左右されるため、最適な財務レバレッジの水準として、自己資本比率60%以上を目安としています。過剰な手元資金は保有せず、経営計画に基づきコスト面および調達の利便性を基本とした資金調達を実施しています。外部借入は財務健全性を維持できる範囲としてネットD/Eレシオが0.3倍程度に収まるよう管理し、資金調達の多様化を図っています。

株主還元の方針

経営基盤の充実とさらなる事業拡大のための設備投資や研究開発投資等を実施することにより、企業価値の向上を図るとともに、株主還元についても安定的な配当を基本方針としています。

10年VISION、中期経営計画に基づき成長戦略を推進しているため、設備投資や研究開発への再投資を中

心に使用する計画です。成長投資のための自己資本を十分に確保したうえで、株主の皆様への還元を安定的に実施するため、配当性向は30%を目安としています。

政策保有株式

事業戦略、取引先との業務提携、取引関係の維持・強化等の観点から、当社の企業価値向上に資すると判断した場合を除き、政策保有株式は原則として保有しません。保有意義の薄れた株式については、当該企業の状況を勘案したうえで段階的に売却を進めます。事業戦略、業務提携、取引関係の維持・強化等の理由から保有する必要があると判断した場合は、毎年、取締役会において保有する各株式の保有目的を精査した上、合理性を検証しています。

